

地域コミュニティ推進協議会提案事業評価表(平成21年度執行)

池田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
	執行額						科目(目)
地域防犯推進事業	402	補助金 402	防犯知識を身につけるため、実演を交えた講習会を実施する。安全マップを作成して、安全な生活を確保する	校区内での防犯セミナーは無かった。子ども、高齢者向けのセミナー必要性を感じる。また、住民自らの防犯意識の低さが目立つ。	大阪府警と消費生活センターの協力を得てセミナーを実施する。約160名の参加者であった。また、学校関係者の協力のもと、校区内安全マップを作成し全戸に配布する。	地域住民間の連帯感が強まる。自治会などから継続開催の要望を受ける。	危機管理課 安全防災事業費
地域自主防災体制強化事業	4,642	器具費 1,000 補助金 3,642	自主防災体制の強化を図るため、防災資機材を各組織に配布する。地域住民に防災活動等を広くPRするため、防災コミュニティ紙を全戸配布する	自主防災組織(4団体)が立ち上がる。防災機材がなく、安全意識の希薄も感じる。	資機材の配備後防災訓練を実施する。「防災だより」3回/年発行、全戸配布する。	防災に関する知識と資機材の実施訓練を体験して意識高揚につながる。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	240	補助金 240	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する	前年に引き続き、地域住民に活動内容をPRする。協議会活動の周知度を高める。	6300部計3回発行。	従来どおりの掲載に加えて、地域内イベントやリニューアルした施設などの記事掲載を行った結果、魅力再発見のPRに繋がる。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	1,268	消耗品費 1,188 補助金 80	地域内に統一化した掲示板を設置し情報の伝達とまちの美化につなげる。掲示物のラミネート化を実施する	過年度の事業改善指摘を留意した上で、取替え及び新設を行いまちの美化を図る。	通行量の多い場所(2箇所)新設、老朽化した取替え(6箇所)計8箇所に設置。ラミネート加工機で掲示物の保護が可能となる。	掲示板材質の改善と色質の統一により、使い易さとまちの美化に繋がる声が寄せられた。また、長期間の掲示が可能になる。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
転落防止柵設置事業	607	請負費 607	杉ヶ谷川沿いの既存老朽ガードレールを撤去し、新たに転落防止用フェンスを設置する	毎年、地域懇談会で案件に出る。現況調査したが危険性を感じた。	改善による安心感とまちづくり意識の高まりを感じた。	費用対効果面で指摘があるが、危険度は大幅に改善した。	みずとみどりの課 土木事業費
計	7,159		内前年度繰越額 159千円				

細河地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
	執行額						科目(目)
子どもの安全対策事業	200	消耗品費 200	子ども110番の小旗やステッカー等を整え、地域と協力して子どもたちの安全対策に努める	「子ども110番」の小旗とステッカーが、かなり老朽化している。	関係団体及び住民に配布し協力を要請。また、自家用車等の車体にステッカーを貼り付ける。	まちなかで、ステッカー等がよく目立つようになった。住民の安全意識が高まる。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	124	補助金 124	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する	地域住民に活動内容の周知。	4000部計2回発行。全住民に、活動内容が理解されていない。	徐々に周知度が増す。費用対効果は十分と考える。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
ホームページ管理事業	100	補助金 100	地域の観光資源等を調査しつつ、最新の情報を更新し、ホームページを通じて発信する	21年度のアクセスは少なかった。	会員及び関係者の協力のもと、最新の情報を更新。	動画、音声配信を月1回程度の更新。予想以上の効果を得る。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
ホテル育成事業	100	補助金 100	ホテルを愛護活動団体等と共同で育成して、観光客の誘致を図る	前年に引き続き開催する。	一部の箇所を除いてホテルの数が増えた。	民間の畑で幼虫を育成する、鑑賞者も増えている。	環境にやさしい課 地域活性化事業費
観光振興構想策定事業	998	基本構想策定委託料 998	豊かな自然環境、歴史と伝統が伝える地場産業等のポテンシャルを「観光」という切り口で新たな魅力を引き出すための調査を大阪大学と共同で行う	「植木のまち」をいかに活気づけるかをテーマに、前年に引き続き大学グループと調査・検討を行う。	最終構想図等が仕上がりに、活動目標が明確になる。	構想図に基づき、計画的取り組みが可能となる。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域観光マップ作成事業	200	補助金 200	地域の観光マップを作成して、細河地域来街者の散策の一助とする	簡単な絵が描かれたマップしかなかった。	地域住民に配布、好評であった。	「みどりの郷」等で来所者に配布する。散策者が徐々に増え、予想以上の効果を得る。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
拠点施設(みどりの郷)管理事業	290	光熱水費 132 修繕料 50 通信運搬費 102 下水道使用料 6	地域の自然環境や地場産業等の活性化を図るため、拠点施設(みどりの郷)の管理運営を行う	前年に引き続き開所する。	協議会の活動及び展示物の充実、地産品の販売等を行う。	来館者が増え、地域の活性化に繋がる。	地域活性課 地域活性化事業費
地域活性推進事業	669	補助金 669	地域の自然環境や地場産業等の活性化を図るため、散策ルートの整備を行う	前年に引き続き散策路の整備をする。	地域住民で案内板の設置、倒木などの処理を行い散策路の確保を行う。	市内及び市外からの来街者が増え、観光事業の具体的な姿が見えた。	地域活性課 地域活性化事業費
農園芸サイクル事業	100	補助金 100	剪定枝を堆肥化するための研究を専門講師を招いて実施する	剪定枝の処理が地域の課題となる。	先進地の視察を行いながら、処理方法を考える。	地域の環境を考慮する方策の整理ができた。	地域活性課 地域活性化事業費
高齢者等配食サービス補助事業	791	補助金 791	配食を必要とする高齢者等に弁当宅配のサービスを実施し、同時に見守り・声かけを行い高齢者の社会参加を促すとともに、緊急時の見守り体制の構築を図る	前年に引き続き実施する。	週1回の配食、約40食/日で推移。	ボランティア賛助会員等で事業を賄う、利用者も増加傾向にある。	高齢介護課 保健福祉事業費
遊休地活用等整備事業	390	補助金 390	高齢者等の健康と生きがいの増進を図るため、遊休地にグラウンドゴルフ場を整備する	大阪府所有する道路用地を市が無償で借り上げ、協議会が活用する。	荒地を地域関係者のボランティア作業で整地する。	土地利用に当たり、周辺住民との調整に時間を要した。22年度から使用開始となる。	高齢介護課 保健福祉事業費
健康講座等開催事業	35	補助金 35	地域の地場産品を利用した料理教育と健康運動の指導等を組み合わせた講座を開催する	メタボシンドロームに対する知識と予防改善が必要となる。	地場野菜の料理、歩き方の実習など生活習慣での知識を習得する。	一般住民から、予想以上の応募があつた。参加者全員が満足してもらえた。	健康増進課 保健福祉事業費
レンタサイクル誘致事業	14	補助金 14	「みどりの郷」にレンタサイクルの一時預かり所を誘致することが可能か調査・研究する	レンタサイクルの誘致による観光振興の可能性を検討。	民間事業者側の説明を受けた。結果、観光振興での必要性を感じる。	事業関係者に期間限定の事業誘致を行う。結果、予想以上の効果を得た。	交通課 土木事業費
街路灯強化事業	1,191	光熱水費 192 修繕料 135 請負費 864	植木類にやさしく、防犯効果のある街路灯を設置する	前年に引き続き実施する。	計画的に設置する。植木植栽類にやさしく地域のイメージカラーにしたい。	まちが少しずつ明るくなり、地域住民から好評を得る。	道路課 土木事業費
校庭芝生自動灌水設置事業	798	補助金 798	小学校の芝生管理に節水型の灌水システムを導入し、地域とのふれあいの場を維持する	毎日の維持管理が必要となる。	光熱費の節約が可能となる。邪魔にならない時間帯の散水が可能。	みどりの景観確保、運動場の快適さ、管理費の軽減等の効果を得た。	管理部総務課 教育事業費
計	6,000						

**秦野地域コミュニティ推進協議会**

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
コミュニティ紙等発行事業	600	補助金 600	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を地域住民にPRするため、ポスターの印刷と広報紙等を発行する。校区運動会や盆踊りを地域全体に周知する	分権制度を定着させるために、協議会活動の関心を更に高める必要がある。	協議会活動のみでなく、地域の伝統行事等も掲載して内容の充実に努める。また、地区運動会のプログラムに活動紹介記事も掲載する。	地域の行事や団体などの活動を盛り込み、多くの人の目を引くようになる。クリアファイルの使用も定着してきた。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
共通課題等勉強会開催事業	150	補助金 150	地域内の共通課題等の勉強会を開催することにより、コミュニケーションの輪を広げる	安全・安心な地域づくりを目指すため、関係者の問題意識、情報の共有化を図る必要がある。	地域分権の推進、地域コミュニティの再生等のテーマで講演会・懇談会を計4回開く。	ギャップの少ない地域を目指すため、継続しながら成果を得たい。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域内会館備品整備事業	366	器具費 366	高齢者等にも利用しやすいように地域内普通会館の施設備品を整備し、利用者の利便性を向上さす	集会所の備品等の老朽化が進む。	軽量機・椅子の配備で移動がしやすくなる。黒板を撤去しホワイトボードを取り付ける	備品の軽量化で高齢者等から好評を得る。	総務課
地域内会館備品整備事業	817	器具費 817	高齢者等にも利用しやすいように地域内共同利用施設の施設備品を整備し、利用者の利便性を向上さす				観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域ギャラリー管理事業	501	消耗品費 489 光熱水費 11 保険料 1	ギャラリー本体の維持管理を行うとともに、地域住民等の作品の掲示方法の充実に努める	20年度提案事業で取り付ける。	2週間ごとに作品を入れ替える。	ギャラリーの存在が高まる。見学者が増える。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域イベント備品整備事業	390	器具費 390	地域イベントを実施する際に必要な、行事用備品を整備する	地域のイベント等に使う用品が重たく、老朽化が進む。また、備品不足も目立つ。	新規備品の購入で、作業が簡素化して移動、設置等安全度が増した。	多種のイベントに使用できるようになる。雨天日の運営もやり易くなる。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
AED配置事業	930	器具費 930	地域行事等の傷病者発生時に、早期の救命措置を行うためにAEDを配置する	市の設置物以外の配備が十分で無い。	3箇所に配備(渋谷、花園、呉羽の里各会館)	器具配置で、住民の安心感が持たれた。	健康増進課 保健福祉事業費
交通安全看板等設置事業	1,000	消耗品費 600 設置委託料 400	道路面に交通看板シール、地域内の路地や三叉路の危険箇所や公園出口等の電柱に交通看板を設置し、安全意識の向上を図る	前年に引き続き実施する。残された地区の安全意識の向上が必要。	歩行者、自動車等の運転者の安全意識を高めることができた。	地域住民は交通安全看板に注意をするようになる。また、設置希望の要望箇所も出る。	交通課 土木事業費
交通安全啓発事業	265	補助金 265	交通安全意識の向上を図るため、地域住民等を対象に「交通安全ルールブック」を作り、教室を開催する	交通看板の設置のみで終わることなく、意識向上のための安全教室が求められる。	ルールブック(2400冊)、反射シール(2000枚)を作成後教室の開催を準備したが、インフルエンザの流行で延期になる。	22年度の開催に期待したい。	交通課 土木事業費
街路灯強化事業	1,976	光熱水費 40 請負費 1,936	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実に努める	前年に引き続き実施する。残された地区の照度アップが必要。	老朽化した器具の交換等、適切な照度の確保が図られた。	歩行者の安心感が生まれた。道路標識、看板等が良く見えるようになる。	道路課 土木事業費
計	6,995		提案権未使用額 5千円				

**北豊島地域コミュニティ推進協議会**

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
コミュニティ紙等発行事業	600	補助金 600	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民にPRするため、広報紙等を発行する	協議会の活動状況について、地域住民に十分理解いただいていない。	会員の募集を兼ねて、全世帯(約6800)に6回/年の配布。	配布を重ねることに理解が深まっていると思う。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
旧北豊島公民館管理事業	3,295	燃料費 152 光熱水費 772 修繕料 1,500 下水道使用料 26 補助金 845	旧北豊島公民館を地域住民相互の交流等の拠点として開放するための整備及び維持管理を行う	活動拠点として、住民相互の交流、親睦の場所として開放。また、施設が古く改修の必要性がある。	高齢者の利用も多く、1階トイレをバリアフリーに改修。週5日開館(年間231日)し管理人常時駐在。利用者(年間1580名)も非常に増えてきた。	地域の老人会、子供会、福祉団体等の会議、協議会主催の講習会(版画教室、健康増進教室、園芸教室等)、図書室の開放等地域住民の文化、健康、福祉向上に寄与する。	総務課 コミュニティ推進事業費
旧北豊島公民館地域活用事業	440	補助金 440	旧北豊島公民館を地域住民相互の交流等の拠点として開放し、健康と福祉の増進、文化教養の向上を図る事業を展開する				総務課 コミュニティ推進事業費
公園バスケットコート環境整備事業	770	修繕料 770	豊島東公園内の維持管理と騒音等への対策を施し、周辺住民の環境改善を図る	バスケットコート開設後、スポーツを通じて子どもたちの育成を図るが、一部の利用者が深夜・早朝に使用することで、近隣住民に迷惑をかけ一時使用禁止した。	外周のフェンス、出入り口の扉の設置、防音シート等を設置。協議会で扉の開閉を管理することで再オープンした。	発生する騒音の低減と深夜・早朝の利用者を抑える事ができた。	みずとみどりの課 土木事業費
公園施設改修事業	1,770	修繕料 1,630 補助金 140	豊島北2丁目公園(通称ロケット公園)を地域住民の憩いの場に改修し、花壇等を設置する	遊具等が古く、植え込み等で見通しも悪い状況。	市の公園改修事業とあわせて、花壇をメインにした明るく、安全な公園の再生を図る。	花が咲く楽しい公園として喜ばれている。	みずとみどりの課 土木事業費
計	6,875						

くれば地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
共同利用施設改修事業	1,384	修繕料 1,384	高齢者等にも利用しやすいように地域内の共同利用施設のトイレ改修を行い、利用者の利便性を向上する	利用者の高齢化が進み、和式トイレの使用がしづらい。	洋風便器の取替え、手すりの設置等利用者の利便を図る。	高齢者にも利用しやすい施設環境を整えることができた。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域イベント支援事業	1,500	物品借上料 1,000 補助金 500	校区全体の盆踊り大会を開催することにより、地域の人と人のつながりが、コミュニティの活性化を促す	自治会、町内会単位での開催だけでは、地域住民間の一体感は感じられない。前年に引き続き実施する。	継続して開催することにより、活気が出てきた。	事業内容の検討や開催準備を、住民が一体となって行うことにより連帯感が生まれた。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
街路灯強化事業	2,619	光熱水費 143 修繕料 56 請負費 2,420	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	前年に引き続き実施する。住民要望も含めて設置箇所の検討。	犯罪件数の減少、夜道も安心して歩ける等好評。	防犯意識の向上を図ることができた。	道路課 土木事業費
小学校トイレ改修事業	920	修繕料 920	高齢者等にも利用しやすいように小学校トイレを改修し、利用者の利便性を向上する	屋外から使用できるトイレは和式だけであった。一般、高齢者から洋式トイレの設置を望まれていた。	地域行事の際、安心して参加できる施設環境が整う。	高齢者の参加促進に繋がった。	管理部総務課 教育事業費
通学路時計設置事業	60	補助金 60	通学路に面する店舗等に協力を得て、時計を設置し子どもたちに帰宅時間を意識させる	登下校時の時間確認は安心感を与える。時間を確認できる施設が少ない。	3店舗の協力を得た。子どもたちから見やすい場所に設置する。	子どもたちはもちろん、見守る側も時間の概念が生まれ、登下校時の安心感が向上した。	管理部総務課 教育事業費
計	6,483		提案権未使用額 142千円				

石橋地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
安心・安全な地域づくり備品整備事業	50	器具費 50	防犯・防火などの地域巡回活動等に必要な備品を整備する	ひったくり等の犯罪が多発している。関係者と共に巡回班を組織し、活動するための用品が整っていない。	活動の拠点詰め所に提灯、電気ストーブを常備する。	年末警戒を駅前で行った。通行人、地域住民に周知することができた。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	285	補助金 285	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民にPRするため、チラシ・ミニコミ紙を発行する	前年に引き続き実施する。協議会の活動内容を知らせ、理解と支援を得る手段がなかった。	約4300部計3回発行。また、掲示板にも掲載して地域住民に周知する。	発行を重ねるごとに、住民から反響があり着実に効果が出る。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	1,300	消耗品費 1,300	地域広報活動の拠点となる案内掲示板の設置箇所を充実させる	前年に引き続き実施する。地域内情報伝達が十分でない。	地域内に、大小計7箇所設置。掲示物の取り扱いルールをもうける。	情報伝達の効果は徐々に現れていると考える。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域イベント備品整備事業	220	消耗品費 70 器具費 150	地域イベントを実施する際に必要な、行幸用備品を整備する	地域の行事等に必要な備品等が整備されていない。	諸行事に対応できる、備品を整えることができた。	地域行事の拡充が図られる。学校と地域がより緊密になる。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
AED配置事業	68	器具費 68	AED本体を収納する箱を整備する	前年に配置するが管理上の課題が残る。	適切な配置が確保できた。	設置場所が明確になり、緊急時の対応が高まる。	健康増進課 保健福祉事業費
交通安全看板等設置事業	150	消耗品費 150	通学路に交通看板を設置し、安全意識の向上を図る	通学途上で、広い道路への飛び出し行為があった。	通学中に注意を払う様子が見受けられた。	特に、新1年生に効果が見受けられた。	交通課 土木事業費
街路灯強化事業	247	光熱水費 5 請負費 242	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	隣接市と比較しても設置条件の差は少ないが、住民の申し出や現地を調査すると、まだ暗い所がある。	調査の結果、街路灯の劣化と照度不足の箇所を改善する(5箇所)。	防犯・安全対策上の増強が図れた。	道路課 土木事業費
道路安全対策事業	3,810	請負費 3,810	(通称)池高道にグリーンベルト歩道帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る	前年に引き続き計画事業で実施する。地域の主要な路線で、道が狭く通行量が多い。	歩行者と車両が輻輳する状況から、区分が明確になり注意意識が生まれている。	利用者の安全意識と交通モラルの向上が図られた。	道路課 土木事業費
教育問題等講演会開催事業	60	補助金 60	身近な教育問題、子育て問題等のミニサークル的な講演会を開催することにより、地域コミュニティの輪を広げる	インフルエンザの流行で日常生活に不安があった。	流行時に早い対策が取れる。生活に安堵感が持たれる。	地域的な状況が理解でき、保健衛生に寄与できた。	教育部教育研究所 教育事業費
文化・芸術展等開催事業	185	補助金 185	写真、絵画展等を開催することにより、地域芸術、文化意識の向上とコミュニティの輪を広げる	アマチュアの文化展の発表機会が少なかった。	開催期間(11/～10)に240名の来場者があった。常設開催の目処が立つ。	興味のある地域住民が多く、実施した意味があった。広報をうまくやればもっと人が集まる。	社会教育課 教育事業費
計	6,375						

## 五月丘地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
防災備品整備事業	1,180	器具費 580 補助金 600	災害発生時の救助活動を迅速に行うため、災害用備品及び保管倉庫を設置し、自主防災組織の拡充に取り組む	自主防災組織(2団体)が立ち上がる。防災機材がなく、実質的な訓練ができない。	資機材の配備後、合同防災訓練を実施する。	防災等に関する意識が装備の充実により、役割分担から組織化まで、ハード・ソフト面に高まり、災害時の対応が充実する。	危機管理課 安全防災事業費
緊急通報装置設置事業	450	光熱水費 5 請負費 445	緊急通報装置を設置し、地域住民の安全安心のまちづくりを目指す	集合住宅群であるため、人の声が通りにくい。緊急時の状況判断に欠ける。	通報音からの緊急事態の対応が敏速にできるようになる。	通行時など、安全・安心のまちづくりの環境が整う。また、犯罪の抑止効果が高まった。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	41	補助金 41	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民にPRするため、広報紙等を発行する	地域住民に、活動内容の周知。	約2900部で2回配布。	徐々に周知度が高まってきた。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	600	消耗品費 600	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く住民に周知するため設置箇所を充実する	地域活動等情報伝達が十分でなかった。	計3箇所配置。	情報伝達効果は徐々に現れた。地域団体からの利用希望の相談を受ける。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
AED配置事業	620	器具費 620	傷病者発生時に、早期の救命措置を行うためにAEDを配置する	身近な場所への、配備が求められた。	2箇所に配備する。(五月丘会館、ファミリーマート)	緊急時の対応が可能となる。	健康増進課 保健福祉事業費
交通安全看板等設置事業	31	消耗品費 31	道路面に交通看板シール等を設置し、歩行者等の安全意識の向上を図る	地域内の道路は、坂道が多く歩行者、自転車使用者にとって危険な場所がある。	特に必要とする所に、協議会で安全シール等を貼り付ける。	地域住民及びドライバーの安全意識が、高めることができたと考ええる。	交通課 土木事業費
休憩施設設置事業	1,800	修繕料 1,800	茶臼山公園、山之手公園に休憩用ベンチを設置し、憩いや語らいの場として、住民相互のコミュニケーションを深める場所とする	前年に引き続き実施する。公園施設内の環境改善を図る。	施設改善で、高齢者、子育て世代の利用が目立つ。茶臼山公園、山之手公園に休憩用ベンチを設置。	楽しく利用している風景が、多く見られた。滞在時間が長くなっている。	みずとみどりの課 土木事業費
昆虫育成等講習会実施事業	335	補助金 335	五月山をカブトムシ等昆虫が生息できるための環境整備や昆虫を育成する講座を開催し、親子のふれあいの場を提供する	前年に引き続き実施する。	講習会を重ねる度に、生きものに関する話題が高まる。	好評の中、2年目の取り組みになる。各自が親子ふれあいの機会を、日常的に進めるようになる傾向にある。	みずとみどりの課 土木事業費
まちなみ花いっぱい整備事業	48	補助金 48	(通称)やまざくら通り等に花を植え、地域の人々が花を育て、身近な生活環境の美化を図る	道路機能を優先した。まちのホットな空間が欠けているように思えた。	道路内に、和やかな雰囲気を感じた。	季節感を感じるみちを、花でつくることは、まちの美化への関心が高まった。	みずとみどりの課 土木事業費
緑化事業	120	植栽管理委託料 120	茶臼山公園に桜の植樹を行い、地域コミュニティの向上と景観整備を行う	現在の桜は老木化する。危険な状況にもある。	住民のこだわり樹種(4本)を茶臼山公園内に、関係者で植樹する。	住民の思いを、地域の中心地の公園で植樹する、地域住民の記念樹として育てたい。	みずとみどりの課 土木事業費
転落防止柵設置事業	384	請負費 384	河川及び斜面沿いに転落防止柵を設置し、地域住民の安全を確保する	傾斜地の河川沿いに柵がなく、人が転落する危険性があった。	住民等の安全を確保するための柵を取り付ける。	事故の未然防止につながったと考える。今後、住民の危険意識を、この機会に伝えていきたい。	みずとみどりの課 土木事業費
道路等安全対策事業	516	請負費 516	通路等に階段手すり等を設置し、地域住民の安全を確保する	前年に引き続き実施する。急傾斜地の往来に、転落の危険性がある。	高低差の多い立地特性から、順次取り組んでいるところ。	高齢者、年少者も安全に通行でき好評を得ている。	道路課 土木事業費
計	6,125						

## 石橋南地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
防犯カメラ設置事業	961	光熱水費 24 設備保守点検委託料 137 請負費 800	小学校周辺に防犯カメラを設置することにより、犯罪の未然防止並びに子どもの安全確保を図る	地域住民の生活道路に面し、通行量の少ない時間帯と、児童の登下校時の安全のための対策が求められる。	カメラの設置と警備員の配置は児童の安全確保に多大な効果をあげている。また、犯罪が発生したときの初期対応に役立つ。	幸いにも不審者は目撃されてないが、警備員にも好評である。犯罪発生時の抑止効果は高いと確信している。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ紙等発行事業	250	補助金 250	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を配布する	前年に引継ぎ実施する。協議会の活動内容を知らせ、理解と支援を得る手段が無い。	4回/年発行、カラー紙、写真等を多く取り入れ、楽しい紙面構成の工夫に勤めた。	カラー刷り両面構成で発行。地域住民に好評であった。	政策推進課 コミュニティ推進事業費
AED配置事業	1,532	消耗品費 23 器具費 1,509	傷病者発生時に、早期の救命措置を行うためにAEDを配置する	地域の避難施設に配備されていなかった。	公共施設(石橋、石橋南、空港各施設、なかよしこども園計4箇所)に配備。	一般の人でも簡単に確実に操作でき、安全・安心のまちづくり意識の向上につながった。	健康増進課 保健福祉事業費
清掃用具設置事業	322	器具費 301 補助金 21	前池公園周辺の清掃活動を通じた地域コミュニティ活動を展開するため用具の保管庫を設置する	朝のラジオ体操の後、老人会・婦人会が施設内の清掃活動をする。	清掃用具類の補充と保管庫の設置で住民の管理意識が向上した。	公園使用マナーの向上で美しくなった。	環境にやさしい課 環境衛生事業費
公園内手洗い設備設置事業	1,500	修繕料 1,500	前池公園、石橋駅前公園に手洗い施設を設置し、子ども等の生活習慣を高める	児童・幼児の砂遊び後、清掃奉仕者等の手洗いの場がない。設置要望が多かった。	2施設(前池、石橋駅前各公園)に水呑みと手洗いの器具を設置。	子どもの生活習慣に役立っていると関係者から聞く。イベント等の関係者からも好評。	みずとみどりの課 土木事業費
小学校門扉オートロック設置事業	1,513	修繕料 1,513	小学校の門に自動開閉制御扉を設置。犯罪の未然防止並びに子ども等の安全確保を図る	小学校の事故以来、全ての門扉に施錠をされる。そのため、訪問者と学校側に不便が出ている。	訪問者の視認、用件等を装置機器で確認後、素早く対応ができる。	他の学校に先駆けた提案事業であるため、多大の効果があった。訪問機会の多い児童の保護者から喜ばれている。	管理部総務課 教育事業費
計	6,078		提案権未使用額 172千円				

**鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会**

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
安全マップ作成事業	300	補助金 300	福祉、防災、安全面から住みよいまちとするための図上訓練からマップづくりまで行い関係団体等に配布する	安全・福祉・医療関係等のパンフレットは、市単位で部門ごとに発行されていた。	地域の特性を活かした、防災・安全・福祉・医療・子育て支援を1冊の保存版として作成した。地域内の各家庭に配布する。	防災・安全等に対する、住民の意識が向上してきた。	危機管理課 安全防災事業費
地域イベント支援事業	560	補助金 560	菖蒲まつりのプログラムとしてふれあい動物園を開園し、子どもたちが小動物にふれあう機会をつくるとともに、地域の文化事業の充実を図るため「ふれあいフェスティバル」を開催する	次第に認知されてきた。内容的にも、魅力あるものをする事で参加者の増加を図る必要がある。子どもたちが小動物にふれあい、命の大切さを知る機会が少なかった。	アンケート調査の結果、好評を得た。ふれあい動物園では、親子の参加者が増えた。また、次の開催内容に要望も寄せられた。当日、会場の準備も整い、来場者の誘導もスムーズに出来た。	動物と触れ合うことで、生命の大切さを感じてくれた。プロの演奏に接し「本物」のすばらしさを体験することが出来た。たくさんのボランティアと参加者で、地域住民の交流の場となった。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
昆虫育成等講習会実施事業	300	補助金 300	水月公園内にカブトムシ産卵場を作り、成育する姿を学ぶ	水月公園は、カブトムシが産卵する条件に至っていない。子どもたちが、本物に触れ、自然と生命の大切さを知る体験に欠ける。	地域住民の協働作業で、自然産卵場を作る。各家庭に幼虫を持ち帰り飼育体験が出来た。	幼虫の繁殖で、生命の大切さと不思議さを学ぶことが出来た。また、自然産卵場に幼虫を戻し、次年度に繋がる活動が出来た。	みずとみどりの課 土木事業費
休憩施設設置事業	3,000	請負費 3,000	水月公園内に憩いの広場を整備して、地域住民等の親睦を深める	水月公園は、近隣の市町村からの来訪者が多い。地域住民には、立地特性から急な階段等があり、身近な憩いの場になっていなかった。	「地域住民が憩える場」を基本に、児童文化センター前に椅子とテーブルの設置、芝生の植え付け等スロープの整備を行う。	憩いの場に人が集まり、新しいスロープには人々の流れが生まれる。地域内の催しの場でも盛り上がった。	みずとみどりの課 土木事業費
街路灯強化事業	572	光熱水費 6 修繕料 16 請負費 550	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため街路灯の充実を図る。環境教育の一環として省エネ効果が得られるLED照明灯を使用する	緑丘小学校西側道路には約40m間隔で道路灯が設置されているが、光源の位置が街路樹より高いため、街路樹の葉が茂る時期になると舗道の照明が不足し、心理的不安を強い環境を作っていた。	既設の道路灯を補完する形でLED防犯灯を設置したことにより、年間を通じて十分な舗道照度を確保することができた。	夜間、舗道を利用する人々の心理的不安を軽減することができた。	道路課 土木事業費
小学校内照明設置事業	350	修繕料 350	夜間の地域行事の利用者安全と、環境教育の一環として小学校内に省エネ効果が得られるLED照明灯を設置する	緑丘小学校校門から体育館玄関までの照明設備は、校門付近に設置された水銀灯1灯のみ。このため体育館玄関付近にて階段やスロープを利用し出入りするには、照度不足であり、安全確保に問題がある。	玄関周辺にLEDライト2灯を増設したことにより、照明の届く範囲を3～4倍に拡大することができた。	体育館の夜間利用者の転倒事故の未然防止に役立っている。また、校門から体育館玄関への往來の利便性の改善を図ることができた。	管理部総務課 教育事業費
ふるさと再発見講座開催事業	800	補助金 800	史跡、旧跡等をめぐる社会見学会、講座を開催し、地域住民等の地域への関心を高める	地域内には、すばらしい自然と歴史があるのに、無知無関心の状態にある。	自然や歴史の関心が高まり、家族のふれあう機会が出来た。	事業を通して、地域のすばらしさと地域に暮らす誇りの意識が高まる。	社会教育課 教育事業費
ふれあい講習会開催事業	400	器具費 249 補助金 151	子どもたちに星座観察を通じて、自然のすばらしさを体験される学習の場を整える	星座観察で、自然のすばらしさを体験できる場を提供する。夏と冬の開催。	星座を通じて、地域が一体となる親子体験学が出来た。	夏の観察会は、参加者が多かった。冬は、悪天候の為か参加者が少なかった。両日とも参加者の好評を得た。	社会教育課 教育事業費
計	6,282		内前年度繰越額 879千円 提案権未使用額 972千円				

**神田地域コミュニティ推進協議会**

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
安全パトロール実施事業	70	補助金 70	地域の安全・安心の向上のため、電動自転車による地域パトロールを行う	平成20年度からパトロールを開始する。	地域ボランティアを中心に安全パトロール体制ができ、下校時の活動を実施。	安全パトロールからの効果は直接なかったが、地域住民の防犯意識の向上に役立っている。	危機管理課 安全防災事業費
転落防止柵設置事業	4,600	請負費 4,600	水路の転落等の危険箇所安全柵等を設置し、事故防止に努める	水路が深く、転落防止柵がないため危険箇所が多い。	学校関係者の調査を基に、5箇所の防護柵を設置する。	転落等の危険度は減少する。	みずとみどりの課 土木事業費
街路灯強化事業	1,830	光熱水費 32 請負費 1,798	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	前年に引き続き実施する。	地域団体から要望のあった箇所を、引き続き実施。新設12件、照度アップ30件の強化事業を行う。	地域内の放火など事件のけん制効果が出ていると思われる。	道路課 土木事業費
計	6,500						

**伏尾台コミュニティ推進協議会**

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	所管課
		執行額					科目(目)
安全パトロール実施事業	545	器具費 100 補助金 445	地域の安全・安心の向上のため、青色パトロール車による地域安全パトロールを行う	平成20年9月より、1時間・4回/日のパトロールを実施する。地域住民の安全意識が高まりつつある。	継続して事業の実施を行う。隊員も20名近く増加した。	住民の安全に対する意識をより高められた。子どもたちの笑顔や会話も増え、より安心感を与えられたと考える。	危機管理課 安全防災事業費
コミュニティ施設改修事業	5,371	修繕料 5,371	伏尾台コミュニティセンター第1会館を内部改修し、機能向上を図り地域住民の利便性を高める	施設利用者の増加とともに、高齢者の使用が増え、施設内の改善が必要となる。	和室の床をフローリング張りに、1階トイレを洋式便器に取替え全面改修をする。また、2階調理室の調理台の一部とガスコンロを老朽化のため取り替える。	特に、高齢者の利用者に好評。各年齢層の利用も増える。また、複数グループが同時に調理室の使用が可能となる。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
休憩施設設置事業	473	器具費 473	バス停にベンチを設置し、地域住民の生活環境の改善を図る	既存ベンチは設置者不明と同時に、破損している。地域内のバス停で不足しているところがある	2箇所のバス停にベンチを設置(5脚)。	地域住民の評価をしっかりと聞いたうえで、残りのバス停について検討を続ける。	交通課 土木事業費
計	6,389		内前年度繰越額 264千円				

<b>合計</b>	<b>71,261</b>		内前年度繰越額 1,302千円 提案権未使用額 1,291千円				
-----------	---------------	--	---------------------------------	--	--	--	--